



2026年7月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年9月14日

上場会社名 株式会社バルニバービ 上場取引所 東
 コード番号 3418 URL <https://www.balnibarbi.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 佐藤 裕久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 宮下 大輔 TEL 06 (4390) 6544
 定時株主総会開催予定日 2026年10月28日 配当支払開始予定日 2026年10月29日
 有価証券報告書提出予定日 2026年10月26日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（報道関係者・機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年7月期の連結業績（2025年8月1日～2026年7月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期	15,085	5.2	388	△39.2	328	△47.2	112	△73.8
2025年7月期	14,336	6.6	638	△1.4	621	△3.9	428	△20.3

（注）包括利益 2026年7月期 115百万円（△73.3％） 2025年7月期 431百万円（△20.1％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年7月期	10.39	—	1.9	2.3	2.6
2025年7月期	41.44	—	9.3	5.2	4.5

（参考）持分法投資損益 2026年7月期 ー百万円 2025年7月期 1百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年7月期	14,905	6,124	40.2	554.30
2025年7月期	13,536	6,071	43.9	550.56

（参考）自己資本 2026年7月期 5,993百万円 2025年7月期 5,943百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年7月期	942	△2,797	1,103	2,598
2025年7月期	1,120	△1,807	2,230	3,351

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年7月期	—	2.50	—	5.00	7.50	80	18.1	1.6
2026年7月期	—	2.50	—	5.00	7.50	81	72.2	1.4
2027年7月期 (予想)	—	2.50	—	5.00	7.50		24.7	

3. 2027年7月期の連結業績予想（2026年8月1日～2027年7月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	7,977	7.8	251	2.4	218	4.1	137	△2.2	12.67
通期	16,428	8.9	650	67.5	585	78.1	327	192.0	30.33

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年7月期	10,962,380株	2025年7月期	10,962,380株
2026年7月期	149,105株	2025年7月期	167,405株
2026年7月期	10,806,256株	2025年7月期	10,347,546株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年7月期の個別業績（2025年8月1日～2026年7月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期	15,093	5.3	321	△38.3	264	△48.9	78	△78.5
2025年7月期	14,337	6.5	520	△2.6	516	△5.7	366	△39.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期	7.27	—
2025年7月期	35.40	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年7月期	14,644	4,992	34.1	461.70
2025年7月期	12,767	4,975	39.0	460.93

(参考) 自己資本 2026年7月期 4,992百万円 2025年7月期 4,975百万円

2. 2027年7月期の個別業績予想（2026年8月1日～2027年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	7,977	7.8	202	28.6	124	28.5	11.47
通期	16,428	8.8	494	87.3	265	237.4	24.53

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	16
(1株当たり情報)	16
(企業結合等関係の注記)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、エネルギー・原材料価格の高止まりや円安の影響、中東情勢をはじめとする海外経済の不確実性など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、インバウンド需要や国内の人流回復を背景に、都市部及び観光地を中心として需要は底堅く推移いたしました。一方で、物価上昇による消費者の節約志向に加え、慢性的な人手不足、人件費、エネルギー価格及び主要食材価格の上昇など、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、従来の「レストラン事業」におけるバッドロケーション戦略での出店で培ったノウハウや知見をもとに、食をベースに総合的なエリア開発を行うことで活性化した不動産の流動化により新たな収益を見込む「エステートビルドアップ事業」を2つ目の成長戦略の柱とし、「食から始まる日本創再生」に取り組んでおります。

レストラン事業においては、既存店の再構築による収益最大化を進めるとともに、新規出店を通じた事業成長を加速しております。2026年6月には、名古屋市の「中川運河再生計画」の一環として、水辺に面した全182席の大型カフェレストラン「CANALIA trattoria & cafe」を出店し、日常利用から貸切イベントまで幅広い需要の取り込みを図っております。デベロッパーからの出店要請は引き続き高いニーズがあり、出店エリアを厳選したうえで新規出店のための体制構築に取り組んでおり、さらには、都心部や季節変動の高いエリアの店舗から期間限定で出向くことのできる新たな働き方のモデルケースとして、冬季期間限定出店も実施しております。このような取り組みにより、柔軟で効率的な事業運営を実現し、社員のライフスタイルにも対応した働き方を支援しております。

エステートビルドアップ事業においては、淡路島北西海岸を舞台に展開する食を通じた地方創再生プロジェクト「Frogs FARM ATMOSPHERE」におきまして、2026年4月に一棟貸しヴィラ「KAMOME SLOW HOTEL POOL HOUSE」、同年7月に温水スパとサウナを備えた「SUNAMERI Spa & Sauna」を開業し、滞在価値とエリア内の回遊性向上を図っております。また、淡路島南岸におけるプロジェクトでは、2024年7月に開業したレストラン、2025年4月に開業した5棟のコテージホテルは順調に稼働しており、同エリアにおいて新たなホテルの開業に向けた準備を進めております。淡路島に新たな観光客を呼び込む拠点としての役割を果たすと共に、地域全体の魅力を発信し、エリアの活性化に寄与することを目指してまいります。さらに、2023年に開業いたしました島根県出雲市西海岸における地方創再生プロジェクト「WINDY FARM ATMOSPHERE」では、レストラン、宿泊施設の運営の強化に加え、「出雲・湖陵パーキングエリア」の再整備やカフェ&ピッツァ「Caffe & Pizzeria LOCALE」の開業を通じて、地域住民と観光客が集う交流拠点としての機能を強化してまいりました。現在は第二期開発として、全20室をオーシャンビューとし、プールやサウナを備えたリゾートホテルの2027年3月開業に向けた準備を進めております。既存のレストランや宿泊施設との回遊性を高め、エリア全体の滞在価値向上を図ってまいります。加えて、愛媛県伊予市森・三秋エリアにおいては、瀬戸内海を望む優れた景観を生かし、レストラン、BBQゾーン、グランピング、一棟貸しコテージ、RVパーク等を一体的に整備する滞在型観光拠点の開発準備を進めております。伊予市が誇る農水産物を活用したメニューや加工品の開発にも取り組み、地域資源を生かした食文化発信拠点として中長期的な価値創造を目指してまいります。

当連結会計年度における当社及び連結子会社の店舗の増減といたしましては、レストラン事業のバッドロケーション戦略において2店舗をクローズ、不動産デベロッパー戦略において3店舗をオープン、大学・その他戦略において期間限定店舗を3店舗オープン、期間限定店舗を3店舗クローズ、エステートビルドアップ事業において2店舗をオープン、2店舗をクローズ、当連結会計年度末における当社グループの運営する店舗数は103店舗となっております。

この結果、当連結会計年度における当社グループの売上高は15,085,851千円（前年同期比5.2%増）、営業利益は388,020千円（前年同期比39.2%減）、経常利益は328,652千円（前年同期比47.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は112,316千円（前年同期比73.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

① レストラン事業

店舗運営に関しましては、店舗運営子会社における各店舗の状況に合わせたきめ細かい店舗運営に取り組み、ビアガーデンやバーベキュー、こたつテラス等季節に応じた店舗運営、営業企画やイベントの立案、安心

安全なテラスの活用や、顧客満足度の向上と収益性を安定させる取り組みを実施しております。

この結果、当連結会計年度における売上高は13,870,351千円（前年同期比6.4%増）となり、セグメント利益は357,595千円（前年同期比34.5%減）となりました。

(a) バッドロケーション

バッドロケーション戦略におきましては、大型・複合型物件の開発を進める一方で行政や大手デベロッパーとの連携により様々なソーシャルプロジェクトなどへ参画を行うことで、食をベースに複合的な店舗開発を推進しております。また、引き続きバッドロケーション戦略の店舗の運営安定化を目的に不動産定期借家契約による退店リスクのある物件につきましては土地、建物、借地権取得など不動産保有を推進し店舗運営の安定化による収益性確保、不動産価値向上による財務体質の改善に努めております。2025年12月には福岡市博多区の「ガーブ リープス」を不動産定期借家契約の期間満了によりクローズ、2026年7月には「ビストロバル トロワキュイ アサヌマ」をクローズしております。

この結果、当連結会計年度末におけるバッドロケーション戦略の店舗数は、関東地区17店舗、関西地区7店舗、その他地域1店舗の計25店舗となり、当連結会計年度における売上高は3,524,608千円（前年同期比1.2%増）となりました。

(b) 不動産デベロッパー

不動産デベロッパー戦略におきましては、好立地、特別な店舗家賃での誘致や初期投資の軽減など好条件での物件獲得を行うことができ、売上規模、収益性、話題性の高い物件を選定することで当社の個性を活かした店舗開発を推進しております。2026年3月には東京都港区南青山に新たに誕生した「表参道Grid Tower」に「LA & LE」をオープン、神奈川県相模原市の「プラウドタワー相模大野クロス」に「CAFFE ITALIANO LOCALE」をオープン、2026年6月には愛知県名古屋市内に「CANALIA trattoria & cafe」をオープンしております。

この結果、当連結会計年度末における不動産デベロッパー戦略の店舗数は、関東地区22店舗、関西地区15店舗、その他地域4店舗の計41店舗となり、当連結会計年度における売上高は6,753,313千円（前年同期比9.8%増）となりました。

(c) 行政・公共機関

行政・公共機関戦略におきましては、新たな地方自治体との取り組みにおいて、その街ならではのオリジナルな業態の開発、地域活性化イベントの開催などを行い、地方創生ネットワークの形成を推進しております。

この結果、当連結会計年度末における行政・公共機関戦略の店舗数は、関西地区13店舗、その他地域1店舗の計14店舗となり、当連結会計年度における売上高は2,405,286千円（前年同期比2.2%増）となりました。

(d) 大学・その他

大学・その他戦略におきましては、学生のみならず近隣住民へのターゲット層の拡大及びコストコントロールによる収益性改善を進めております。また、顧客の消費動向の変化により拡大した中食需要の取り込みを目的とした通販サイト「CANDLE TABLE」の展開等、顧客満足度の向上と収益性を安定させる取り組みを行っております。2025年11月には冬季期間限定店舗として北海道富良野市の富良野スキー場に「レストラン ダウンヒル」をオープンし2026年5月にクローズ、12月には新潟県南魚沼郡のかぐらスキー場に「ぶなキッチン」「スープステーション田代」をオープンし2026年5月にクローズ、長野県北安曇郡のつがいけマウンテンリゾートに「瀬戸内淡路島 中華そばいのうえ」をオープンし2026年3月にクローズしております。

この結果、当連結会計年度末における大学・その他戦略の店舗数は、関東地区1店舗、関西地区3店舗の計4店舗となり、当連結会計年度における売上高435,530千円（前年同期比9.7%増）となりました。

(e) その他の事業

その他の事業は、企業、行政機関などに対して、地域ブランド振興、カフェやレストランの企画・開発等のコンサルティングを行っております。当連結会計年度における売上高は360,362千円（前年同期比5.4%増）となりました。

② エステートビルドアップ事業

当社グループでは、食をベースとした地方創再生プロジェクトとして兵庫県淡路島北西海岸「Frogs FARM ATMOSPHERE」を筆頭に、島根県出雲市西海岸「WINDY FARM ATMOSPHERE」及び兵庫県南あわじ市のエリア開発に取り組むことで、地方創再生ネットワークの形成を推進しております。「Frogs FARM ATMOSPHERE」におきましては、2026年4月にサウナ機能を備えたヴィラタイプの宿泊施設「KAMOME SLOW HOTEL POOL HOUSE」をオープン、7月に「SUNAMERI Spa & Sauna」をオープンいたしました。また「WINDY FARM ATMOSPHERE」におきましては、「出雲・湖陵パーキングエリア」の既存店舗を業態転換し、2026年4月にパークエリアを併設したカフェ&ピッツァ「Cafe & Pizza LOCALE」をオープンし、地域住民の日常利用に加え、観光客需要にも対応することで、地域交流拠点としての機能強化を図っております。

この結果、当連結会計年度末におけるエステートビルドアップ事業の店舗数は関西地区16店舗、その他地域3店舗の計19店舗となり、当連結会計年度における売上高は1,606,749千円（前年同期比0.4%減）となり、セグメント利益は30,425千円（前年同期比67.2%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は6,630,313千円となり、前連結会計年度末と比べ434,805千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が253,322千円減少、販売用不動産が76,628千円減少したことによるものであります。固定資産は8,267,663千円となり、前連結会計年度末と比べ1,809,405千円増加いたしました。これは主に建物及び構築物が546,536千円、土地が23,355千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、14,905,237千円となり、前連結会計年度末と比べ1,368,385千円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は4,092,673千円となり、前連結会計年度末と比べ946,179千円増加いたしました。これは主に短期借入金が914,008千円増加したことによるものであります。固定負債は4,687,649千円となり、前連結会計年度末に比べ368,767千円増加いたしました。これは主に長期借入金が358,027千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、8,780,322千円となり、前連結会計年度末と比べ1,314,946千円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は6,124,914千円となり、前連結会計年度末と比べ53,438千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が31,308千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は40.2%（前連結会計年度末は43.9%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ753,322千円減少し、2,598,189千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は942,564千円（前年同期は1,120,373千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益184,033千円、減価償却費636,885千円及び売上債権の増加39,061千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は2,797,831千円（前年同期は1,807,346千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2,346,529千円、定期預金の預入による支出500,000千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1,103,805千円（前年同期は2,230,565千円の収入）となりました。これは主に、短期借入金による純増加額による収入934,008千円、長期借入れによる収入1,256,000千円及び長期借入金の返済による支出1,003,438千円等によるものであります。

（4）今後の見通し

当社グループの2027年7月期の業績は、売上高16,428,828千円（前年同期比8.9%増）、営業利益650,000千円（前年同期比67.5%増）、経常利益585,343千円（前年同期比78.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益327,912千円（前年同期比192.0%増）を見込んでおります。

業績予測については、既存店の業績推移、当連結会計年度に出店した店舗の通年寄与及び出店決定並びに検討案件の状況をもとに策定しております。

現在発表しているオープン予定店舗は「BE WANDERLUST HOTEL」（兵庫県南あわじ市：2026年12月）、「AOI NAPOLI OMBRA（青いナポリ オンブラ）」（大阪市北区：2026年11月）、「HOTEL THE CLIFF NAMIMA（仮称）」（島根県出雲市：2027年3月）、その他オープン予定店舗についても詳細が決定次第公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては、日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当連結会計年度 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,394,087	3,140,764
売掛金	806,806	845,868
商品及び製品	210,066	219,709
原材料及び貯蔵品	36,003	44,092
販売用不動産	2,217,170	2,140,542
未収還付法人税等	3,597	5,086
未収消費税等	2,372	9,734
その他	399,671	240,036
貸倒引当金	△4,655	△15,519
流動資産合計	7,065,119	6,630,313
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,978,697	4,734,642
減価償却累計額	△1,327,573	△1,536,981
建物及び構築物（純額）	2,651,124	3,197,661
機械装置及び運搬具	172,593	193,078
減価償却累計額	△118,879	△138,457
機械装置及び運搬具（純額）	53,714	54,621
工具、器具及び備品	1,806,435	1,931,464
減価償却累計額	△1,060,260	△1,113,044
工具、器具及び備品（純額）	746,175	818,419
土地	1,164,357	1,187,712
リース資産	624,389	594,404
減価償却累計額	△623,187	△594,404
リース資産（純額）	1,201	—
建設仮勘定	255,022	1,345,748
有形固定資産合計	4,871,594	6,604,162
無形固定資産		
借地権	295,288	278,153
のれん	24,765	15,178
その他	20,773	16,671
無形固定資産合計	340,827	310,003
投資その他の資産		
投資有価証券	1,550	1,550
差入保証金	695,287	750,945
繰延税金資産	520,730	550,941
破産更生債権等	—	49,336
その他	28,268	50,060
貸倒引当金	—	△49,336
投資その他の資産合計	1,245,836	1,353,497
固定資産合計	6,458,258	8,267,663
繰延資産		
株式交付費	13,473	7,259
繰延資産合計	13,473	7,259
資産合計	13,536,851	14,905,237

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当連結会計年度 (2026年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	350,870	372,109
短期借入金	537,584	1,471,592
1年内返済予定の長期借入金	1,003,438	897,972
リース債務	1,751	—
未払金	675,610	724,883
未払法人税等	108,482	83,767
未払消費税等	236,685	145,236
契約負債	13,681	18,387
賞与引当金	8,467	8,238
株主優待引当金	45,575	59,263
資産除去債務	—	71,176
その他	164,345	240,044
流動負債合計	3,146,493	4,092,673
固定負債		
長期借入金	3,556,058	3,914,085
資産除去債務	690,344	655,889
繰延税金負債	11,703	—
その他	60,776	117,674
固定負債合計	4,318,882	4,687,649
負債合計	7,465,376	8,780,322
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,608,010	1,608,010
資本剰余金	1,956,273	1,956,273
利益剰余金	2,551,623	2,582,931
自己株式	△172,596	△153,381
株主資本合計	5,943,310	5,993,833
非支配株主持分	128,165	131,080
純資産合計	6,071,475	6,124,914
負債純資産合計	13,536,851	14,905,237

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)	当連結会計年度 (自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)
売上高	14,336,766	15,085,851
売上原価	3,676,924	3,873,781
売上総利益	10,659,842	11,212,069
販売費及び一般管理費	10,021,171	10,824,049
営業利益	638,671	388,020
営業外収益		
受取利息	2,027	7,119
受取保険金	29,218	10,293
消費税差額	—	5,141
助成金収入	400	—
違約金収入	10,254	12,577
その他	10,414	13,837
営業外収益合計	52,315	48,969
営業外費用		
支払利息	51,973	79,494
シンジケートローン手数料	2,000	1,750
新株発行費	5,168	6,214
貸倒引当金繰入額	—	13,095
持分法による投資損失	1,394	—
その他	8,559	7,783
営業外費用合計	69,095	108,337
経常利益	621,890	328,652
特別利益		
固定資産売却益	2,712	—
受取和解金	19,204	—
特別利益合計	21,916	—
特別損失		
減損損失	8,098	101,098
固定資産売却損	411	2,676
固定資産除却損	2,267	5,348
店舗閉鎖損失	—	30,624
契約解約損	17,200	—
災害による損失	—	4,871
特別損失合計	27,977	144,619
税金等調整前当期純利益	615,830	184,033
法人税、住民税及び事業税	111,186	110,714
法人税等調整額	73,036	△41,913
法人税等合計	184,222	68,801
当期純利益	431,607	115,232
非支配株主に帰属する当期純利益	2,789	2,915
親会社株主に帰属する当期純利益	428,817	112,316

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)	当連結会計年度 (自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)
当期純利益	431,607	115,232
包括利益	431,607	115,232
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	428,817	112,316
非支配株主に係る包括利益	2,789	2,915

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2024年8月1日 至 2025年7月31日）

(単位：千円)

	株主資本					非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	466,825	815,088	2,194,075	△172,596	3,303,392	125,375	3,428,767
当期変動額							
剰余金の配当			△71,270		△71,270		△71,270
新株の発行	1,141,185	1,141,185			2,282,370		2,282,370
親会社株主に帰属する当期純利益			428,817		428,817		428,817
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						2,789	2,789
当期変動額合計	1,141,185	1,141,185	357,547	—	2,639,918	2,789	2,642,708
当期末残高	1,608,010	1,956,273	2,551,623	△172,596	5,943,310	128,165	6,071,475

当連結会計年度（自 2025年8月1日 至 2026年7月31日）

(単位：千円)

	株主資本					非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	1,608,010	1,956,273	2,551,623	△172,596	5,943,310	128,165	6,071,475
当期変動額							
剰余金の配当			△81,008		△81,008		△81,008
親会社株主に帰属する当期純利益			112,316		112,316		112,316
自己株式の処分				19,215	19,215		19,215
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						2,915	2,915
当期変動額合計	—	—	31,308	19,215	50,523	2,915	53,438
当期末残高	1,608,010	1,956,273	2,582,931	△153,381	5,993,833	131,080	6,124,914

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)	当連結会計年度 (自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	615,830	184,033
減価償却費	560,693	636,885
店舗閉鎖損失	—	30,624
減損損失	8,098	101,098
固定資産売却益	△2,712	—
持分法による投資損益 (△は益)	1,394	—
受取利息及び受取配当金	△2,027	△7,119
支払利息	51,973	79,494
災害による損失	—	4,871
売上債権の増減額 (△は増加)	△122,707	△39,061
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△39,625	△17,732
販売用不動産の増減額 (△は増加)	△66,218	△1,281
仕入債務の増減額 (△は減少)	14,969	21,239
未払金の増減額 (△は減少)	3,091	49,272
未払費用の増減額 (△は減少)	2,806	△345
預り金の増減額 (△は減少)	2,488	△3,121
未払消費税等の増減額 (△は減少)	73,478	△91,448
未収消費税等の増減額 (△は増加)	44,153	△7,361
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	60,200
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	11,008	13,688
助成金収入	△400	—
その他	18,060	147,751
小計	1,174,356	1,161,687
利息及び配当金の受取額	2,027	7,119
利息の支払額	△53,577	△84,020
助成金の受取額	400	—
法人税等の還付額	47,756	3,597
法人税等の支払額	△50,590	△145,820
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,120,373	942,564
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,886,967	△2,346,529
有形固定資産の売却による収入	12,576	8,729
無形固定資産の取得による支出	△9,621	△4,509
差入保証金の回収による収入	50,873	26,544
差入保証金の差入による支出	△40,142	△81,627
資産除去債務の履行による支出	△2,601	△36,467
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	73,662	—
関係会社の整理による収入	—	167,164
定期預金の預入による支出	—	△500,000
その他	△5,125	△31,136
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,807,346	△2,797,831
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△14,858	△1,755
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,178,900	934,008
長期借入れによる収入	3,190,988	1,256,000
長期借入金の返済による支出	△1,959,121	△1,003,438
配当金の支払額	△71,270	△81,008
株式の発行による収入	2,282,370	—
株式の発行による支出	△18,642	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,230,565	1,103,805
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,261	△1,861
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,542,330	△753,322
現金及び現金同等物の期首残高	1,809,182	3,351,512
現金及び現金同等物の期末残高	3,351,512	2,598,189

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループは、サービス別に、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う事業セグメントを基礎として報告セグメントを決定し、以下の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの内容は、以下のとおりであります。

報告セグメント	事業内容
レストラン事業	飲食店の運営及びE Cサイトの運営事業
エステートビルドアップ事業	地方創再生ネットワーク形成の推進事業及び不動産の開発事業等

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

I 前連結会計年度（自 2024年8月1日 至 2025年7月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	連結財務諸表計 上額 (注) 1
	レストラン事業	エステート ビルドアップ 事業	合計		
売上高					
関東	5,882,235	—	5,882,235	—	5,882,235
関西	5,781,135	1,290,604	7,071,740	—	7,071,740
その他	972,028	317,047	1,289,076	—	1,289,076
顧客との契約から生じる収益	12,635,399	1,607,652	14,243,052	—	14,243,052
その他の収益	87,858	5,856	93,714	—	93,714
外部顧客への売上高	12,723,258	1,613,508	14,336,766	—	14,336,766
セグメント間の内部売上高 又は振替高	309,102	—	309,102	△309,102	—
計	13,032,361	1,613,508	14,645,869	△309,102	14,336,766
セグメント利益	545,885	92,785	638,671	—	638,671
セグメント資産	9,049,159	4,464,962	13,514,122	22,729	13,536,851
その他の項目					
減価償却費	411,459	149,233	560,693	—	560,693
のれん償却額	—	3,994	3,994	—	3,994
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	808,547	705,425	1,513,973	—	1,513,973

(注) 1. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

2. セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社資産であります。

Ⅱ 当連結会計年度（自 2025年8月1日 至 2026年7月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	連結財務諸表計 上額(注) 1
	レストラン事業	エステート ビルドアップ 事業	合計		
売上高					
関東	6,433,912	—	6,433,912	—	6,433,912
関西	5,941,227	1,242,477	7,183,704	—	7,183,704
その他	1,036,582	364,271	1,400,853	—	1,400,853
顧客との契約から生じる収益	13,411,721	1,606,749	15,018,470	—	15,018,470
その他の収益	67,380	—	67,380	—	67,380
外部顧客への売上高	13,479,102	1,606,749	15,085,851	—	15,085,851
セグメント間の内部売上高 又は振替高	391,249	—	391,249	△391,249	—
計	13,870,351	1,606,749	15,477,100	△391,249	15,085,851
セグメント利益	357,595	30,425	388,020	—	388,020
セグメント資産	9,218,796	5,659,387	14,878,183	27,053	14,905,237
その他の項目					
減価償却費	441,461	189,258	630,720	6,165	636,885
のれん償却額	—	9,586	9,586	—	9,586
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	873,384	1,456,072	2,329,456	10,489	2,339,946

(注) 1. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

2. セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社資産であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年8月1日 至 2025年7月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

「セグメント情報」に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年8月1日 至 2026年7月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

「セグメント情報」に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年8月1日 至 2025年7月31日）

(単位：千円)

	レストラン事業	エステート ビルドアップ 事業	全社・消去	合計
減損損失	8,098	—	—	8,098

当連結会計年度（自 2025年8月1日 至 2026年7月31日）

(単位：千円)

	レストラン事業	エステート ビルドアップ 事業	全社・消去	合計
減損損失	83,294	17,804	—	101,098

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年8月1日 至 2025年7月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	レストラン事業	エステートビル ドアップ事業	合計			
当期償却額	—	3,994	3,994	—	—	3,994
当期末残高	—	24,765	24,765	—	—	24,765

当連結会計年度（自 2025年8月1日 至 2026年7月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	レストラン事業	エステートビル ドアップ事業	合計			
当期償却額	—	9,586	9,586	—	—	9,586
当期末残高	—	15,178	15,178	—	—	15,178

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年8月1日 至 2025年7月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年8月1日 至 2026年7月31日）

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)	当連結会計年度 (自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)
1株当たり純資産額	550.56円	554.30円
1株当たり当期純利益	41.44円	10.39円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)	当連結会計年度 (自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	428,817	112,316
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	428,817	112,316
普通株式の期中平均株式数（株）	10,347,546	10,806,256

(企業結合等関係の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。